

# はぼる

第127号

2024



2.28

議会だより

## ピツシリ



定例会	2
一般質問(4名)	3~6
総務産業常任委員会	7
文教厚生常任委員会	8
広報広聴常任委員会	9
公共事業等、医療問題調査研究特別委員会	10

「羽幌少年スキー学校」羽幌町民スキー場にて 1月3日撮影

●発行／北海道羽幌町議会 ●編集／広報広聴常任委員会



# 令和5年 第9回定例会

本議会は令和5年12月14日から15日までの2日間の会期で開かれた。今回は報告2件、承認1件、一般議案17件(条例制定・改正9件、補正予算案8件)、同意2件、諮問1件、発議2件、意見案1件が審査され、提案どおり可決された。

一般質問は4名(5件)であった。

## 物価高騰対策として 消費活性化クーポン券を実施

●「前川富義奨学基金条例」は、前川富義氏の寄付による新たな奨学金制度の創設に伴

●「羽幌町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例」は、出産被保険者の産前産後期間に係る国民健康保険税の減額規定を新設するため改正。

《主な制定・改正内容》  
●「職員の給与に関する条例」の一部を改正する条例は、国家公務員の給与改定に準じて職員の給与を改定するため改正。  
※特別職、議会議員、会計年度任用職員も一般職の給与改定に準じて改正。



森 町 長

い、その基金運用に関し必要な事項を定めるため制定。

●「羽幌町奨学基金条例の一部を改正する条例」は、大学生のみを対象とした奨学基金条例の新設に伴い、本条例における対象者、貸付金額及び償還期間に関する規定の整備を行うため改正。

●「羽幌町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」は、下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用するにあたり、関係条例の整備を行うため改正。



《主な補正内容》  
● まちづくり応援寄付金推進事業  
(まちづくり応援基金積立金) 2000万円

● 共同戸籍業務電算システム管理事業  
(電算システム改修委託料) 4332万円

● 不妊治療費等助成事業  
(不妊治療費等負担軽減扶助費) 234万円

● 畑地化促進事業  
(畑地化促進事業補助金) 139万円

● 事務局業務経費  
(前川富義奨学基金積立金) 3000万円  
● 焼尻小中学校建替事業  
(廃棄物処理委託料・解体工事請負費) △984万円

● 介護サービス基盤整備事業  
(物価高騰対応重点支援交付金) 341万円  
● 消費活性化対策事業  
(消費活性化クーポン券報償費) 3088万円



● 人権擁護委員の推薦  
前委員が任期満了となったため新たに五十嵐明子氏を選任。



● 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書  
※スキー場のグレンデ整備に使用する圧雪車の燃料等

【全員賛成】

磯野直議員



# 問 藻場づくり事業を積極的に進めては

## 答 漁業関係者とともに検討したい



一般質問  
音声配信

### 豊かな海づくり 森づくり

**問** 近年沿岸海域における磯焼けの問題が深刻になってきている。天売・焼尻両周辺の海域においても例外ではない。これについては各機関において研究も進められているが、いまだ確たる原因も解決策も示されていない。自然環境が変化していくには様々な要因があるが一度失った自然を取り戻すには長い年月を要する。このままでは沿岸漁業の未来を危惧する、特に両島のウニ漁には影響が出始めていると聞いているが、この現状を少しでも改善するためには行政機関の力も当然必要だが我々一人一人の出来ることもある。一つは植林であり一つは海岸の環境保全であると考ええる。そこでまずは天売・焼尻両島の森づくりから始めることを提案する。そこで是非多くの人が参加できる植樹イベントを実施し、官民協力をして豊かな森づくりを目指した新たな

施策を進めてほしいがどうか。

**答** 天売島においては島民が中心となり植樹が行われてきているが、焼尻島では平成17年度に植樹会が行われたが育樹活動については行われていない。豊かな森づくりを未来につなげて行くためには島民各位による主体的な活動となるための気運の醸成に努めることが必要と考えている。

**問** 森づくりと同様に海づくりも進めていかなければと考える。全国各地において産官学共同で藻

場づくりの研究や実証実験も行われておりその成果も報告されている。

この藻場づくりは両島のウニの安定的な漁獲を維持するばかりでなく、カーボンクレジットとして販売するなどの事業も考えられることから、わが町もこの藻場づくりを積極的に推進し産官学共同でこの豊かな海づくりを目指す施策を進めては。

**答** 北海道日本海沿岸における磯焼けについては1950年代より顕著になり現在においても藻場の衰退は本町においても



焼尻の沿岸



焼尻の自然林

離島地域においても続いていると認識している。留萌振興局において留萌管内ブルーカーボン推進協議会を立ち上げ、管内全域において取り組みを推進するとともに水産業の振興を図るとしている。本町においても沿岸地域における藻場づくりについて漁業関係者とともに検討していきたい。

**問** この海づくり森づくり事業を漁業振興策として進めるだけでなく、脱炭素化事業として島の人たちや観光客が植樹や海岸清掃に参加できる新たな体験型観光メニューを作り、さらにはそれをふるさと納税の特典として展開するなど、島の人たちや観光客など多くの人を巻き込んだ新たな観光振興策として位置づけ、島の活性化を促してほしいがどうか。

**答** 海づくり森づくりと並行して新たな離島体験型観光メニューやふるさと納税の特典も視野に、観光団体や島民と連携し、検討を進めていきたい。

阿部 和也 議員



# イベントでの地域活性化を

## 答 力を入れていく必要がある



一般質問  
音声配信



サンセットビーチ

**道の駅の現状と課題**  
**問** 総合振興計画には道の駅を拠点とした観光誘客を目指すところがあるが、現時点での観光誘客に向けた取り組み状況と今後の課題は。

**答** 取り組みとしては、町ホームページへの掲載、観光パンフレットの配布、バラ園の整備など。今後の課題は、施設自体のわかりにくさ、更なる物販の充実、道路を挟んで分散している道の駅施設の一体化と考えている。

**問** 町民からは道の駅を

単独で建設すべきではとの声を聞くが、町長はどのように考えているのか。  
**答** 用地や財源の確保などの問題から、当面は現状の施設を充実させていきたい。

**問** 次年度以降に向けて何か考えていることは。

**答** 次年度の事業としては考えていないが、一つ一つ優先順位を付けて課題を解決していきたい。

**提案** 観光の拠点としてデジタルサイネージ(電子表示機器)などの設置を検討していただきたい。

**サンセットビーチの活性化**

**問** サンセットビーチ内の施設(ビーチハウス・ステーション他)等の整備は考えているのか。

**答** 道の駅を含めて公共施設マネジメント計画の見直しの中で、あらためて検討していく。

**問** サンセットビーチ内の施設については、老朽化していると認識しているのか。老朽化していると考えているのであれば、次年度以降、軽微な改修等は行わないのか。

**答** 間違いなく老朽化している。現状の補修等に関しては随時行っていく。

**問** ステージをどのように活用するかによって、ビーチの活性化に繋がると思いますが、今後の改修は。

**答** 過去にダンス等で利用したいとの話があったが、耐久性の問題もあり、他の施設を利用していただいた。今後町民から具体的な利用について相談があれば、改修についての予算をあげていきたい。



はほろ秋まつり

**各イベントの開催は**

**問** 町民からは、各イベントの開催による賑わいの創出や地域の活性化を望む声を聞くが、羽幌町として、このような声に対してどのように考えているのか。

**答** 「はほろ秋まつり」の大盛況を踏まえ、民間主導で内容を練り、各団体と積極的に連携して開催に向けて取り組んでいく。  
**問** 例えば、他の道の駅ではイベントが行われているが羽幌町では行われていない。場合によっては

行政側から民間の団体に、こういったイベントをしませんかと、投げかけていくことも今後は必要ではないか。

**答** イベントに力を入れていく必要がある。町が全て主体でやるとなると現実的には難しい。各青年団体や、それ以外の方からも担当課に相談をしていただくと、できるもの、できないものを判断して実行委員会を立ち上げるといったようなことになる。

金木直文 議員



# 問 リフォーム助成の見直しは

## 答 細部はこれから 町の考え早めに



一般質問  
音声配信

**問** 次年度予算編成では、近年の歳入面では、主たる自主財源である町税は7億円、依存財源である地方交付税は30億円で推移している一方、歳出面では義務的経費の内の人件費、公債費が横ばいであるものの、扶助費は増加傾向にあるとのことだ。次年度予算編成にあたっての基本的な考え方、各課への指示や通達、想定される主たる事業などを聞きたい。

**答** これまで同様、厳しい財政状況が見込まれることから、全ての事業について、その必要性と効果を検証し、従来の考え方に固執することなく、自治体デジタルトランスフォーメーション（自治体DX）の推進など、大胆な発想による新たな事業展開を図ることなどを基本としており、これに基づき「令和6年度羽幌町予算編成方針」を作成し、各課へ通知している。公約である「福祉ハイヤー事業」や「住宅改修促進助成制度」「空きビル

解体」など、制度の拡充や再開などについて、内容を精査するよう個別に指示している。

次年度における主たる事業については、新年早々から予定している各課からのヒアリングと財源の確保等を十分考慮した上で総合的に判断したい。

**問** 自治体DXとは、計画など作るのか。

**答** 自治体がデジタル技術を活用し、行政サービスの改善や効率化を図ることで、目的は行政サー

ビスの向上や経費削減、行政の透明性の明示など、より良いサービスを提示することにあり。町としても取り組んでいきたい。

### 住宅改修促進助成は

**問** 以前に実施されていた助成内容は、100万円を超えるリフォーム事業費に対して20万円を補助するもので、町内事業者が行う場合に限定されていた。しかし、後年になつて受注過多といった状況もみられて、補助を辞退する事例も起きていた。今後の事業では、こ



予算編成作業が進められている羽幌町役場庁舎



解体が検討される予定の空きビル

うした事例も回避できるような仕組みも必要と考えるがどうか。

**答** 来年度からの再開に向け準備を進めており、制度の目的や内容については、以前実施していた内容を基本に考えているが、細部については、運用上の課題等も含め、いまだ検討の余地があると考えている。

今後においては、来年度の予算編成を進める中で制度の全容を固め、議会とも相談をさせていただきたい。

**問** 事業を中止していたこの間、事業者が減少しているのではないか。発注先の事業者の取り合いにならないための対策、町内事業者と助成額に格差をつけて町外事業者でも対象に加える、1次募集、2次募集と、申請期間を長くするなど見直しはどうか。

**答** 休止していたことで、どの程度の申し込みがあるのか、事業者の状況も加味して決めていきたい。早めに町民へ伝えていく必要もあると考える。



一般質問  
音声配信

# 問 焼尻小中学校の再検討を

## 答 地域の意見を聞きながら検討していく



小寺 光一 議員



足元注意!! (サンセットプラザ大浴場)

**今後の観光振興は**  
問 羽幌町の観光の見解と今後の展望は。

答 コロナ禍よりは持ち直しているが、事業者の高齢化、後継者問題は重要な課題と認識している。

問 インバウンド客に観光案内ができる翻訳機等の機器を導入してどうか。

答 配置や管理体制等を含めて検討課題としたい。

問 今後、観光客の宿泊ニーズに対応した新たなキャンプ場やRVパーク等の整備も考えていくべきではないか。

答 キャンプ場は公共施設マネジメント計画見直しの中で検討していく。

RVパークはバラ園の駐車場で一部準備している状態であり、更なる整備について検討していく。

**サンセットプラザの**

**大浴場改修を早急に**

問 観光の拠点となる施設であり、町民や観光客が利用する浴場は安全面から早急に補修を行い、今後は改修を含めて今以上に魅力的なものにするべきでは。



現在の焼尻小中学校の校舎

答 浴場は、緊急性を考慮しながら整備していく。今後公共施設マネジメント計画の見直しの中で、魅力的なものとなるよう検討していく。

問 今の浴場の状態は、やはり危険でもあり、安全面からも緊急性がある課題だと思つが。

答 何をもちって緊急性といふのはいろいろあつて、すぐ怪我に結びつくことが、そういうものを基本的に考えてはいる。ただ観光業はよそとの競争もあり、明らかに劣化し観光

が激減していく状況や、衛生上の問題等いろいろなものが考えられると思う。

**離島振興策の取組み**

問 今後生活基盤の整備や医療や福祉等の維持も難しくなると考える。また生活に必要な人材の確保や持続可能な島の生活を考えていくべき。

答 両島の人口減少は著しいと認識している。特に焼尻地区は顕著であり、町政懇談会で、今後、生活に必要なサービスを提

供する人材の確保が難しくなる状況と、地域と町でアイデアを出し合いながら取り組んでいきたい旨を説明した。

**天売複合施設と焼尻小中学校建設状況は**

問 令和6年度から建設が開始される天売複合施設の進捗状況は。

答 天売複合施設は、9月27日より公募型指名競争入札の告示を行い、入札参加希望者の公募を実施したが、希望者が無く、再度公募期間を延長した。

問 焼尻小中学校の建設は、学校建設の在り方や方向性も含め、将来の島の状況も考慮した上で再度検討すべきと考えるが。

答 8月の焼尻地区町政懇談会で「整備時期を延期することで検討の時間ができる」等の意見があった。学校は地域で最も身近な公共施設の1つである。離島振興に関連するが、具体的な計画を進める中で地域のご意見を聞きながら検討していく。

# 総務産業常任委員会

## 寄付額の拡充へ

(11月16日開催)

### ふるさと納税の今後

状況と課題等について担当課より説明を受けた。寄付額増に向け先進地視察等を実施し、課題を整理した上で取り組みを行い、効果が表れているものの、制度改正による影響を大きく受けている。



羽幌町ふるさと納税サイト

### 《主な質疑》

【質問】他の市町村では人気商品に集中的に力を入れていく。羽幌町に特化した主力商品は何か。

【回答】甘エビやサフォークを主力としているが、現在イクラのしょうゆ漬けが最も人気で、これからも伸ばしていきたいものと考えている。町に特化したものとしてはアイスも伸ばしたい。ほかに、事業

者との話し合いの中で可能性のあるものについてはPRしながら扱っていききたい。

【質問】寄付額に対する返礼品が釣り合わない部分があるのでその辺も検討してほしい。

【回答】寄付額が増えれば採算ベースも上がるため、好循環に向けて努力していく。

【質問】体験型ツアーの開発をすべき。

【回答】コロナ禍明けで体験型の商品が人気となっており、売上げを伸ばしているのに、ぜひ取り扱っていきたく思っている。

【質問】リピーター対策はどうなっているか。

【回答】今までは効果的に打ち出せていなかったが、これからの取り組みについて検討している。

【質問】現地決済型サービスの導入は。また、定期便についての考えは。

【回答】現地決済型については導入を進めており、導入した場合、送料を考慮しないお得な形になると思われる。定期便については、通年ではない短期間の商品の取り扱いは今までもあったが、通年の商品が人気ということもあり、調整を進めている段階。

## 町道の安全確保

### ◆令和5年度 除排雪業務契約

契約期間 令和5年12月1日

〜令和6年3月31日まで。

契約形態 随意契約

予算現額 市街・原野地区

1億5020万円

離島地区 440万円



町道の除排雪業務

### 《主な質疑》

【質問】除排雪業務における降雪量の基準地点はどこか。

また、優先度についてはどうか。特に通学路やフェリーへのアクセスは優先すべき。

【回答】明確な基準地点は示しておらず、町全体の状況を見ながら出動している。優先度は通学路と幹線道路が高い。フェリーへのアクセスについて

では確認しながら対応していきたい。

【質問】役場前の通りは主要道路であり、事故防止のためにも除排雪をしつかりやってほしい。

【回答】業者も含めて検討課題として考えていきたい。

【質問】排雪の頻度が年々少なくなっていると感じるが、どう捉えているか。

【回答】車両及び運転手の不足、国・道の排雪時期重複などの問題がある。課題として捉え、協議しながら進めていきたい。

【質問】町民からの要望へのスムーズな対応と除排雪後の確認が必要と考えるが。

【回答】降雪の状況を確認しつつ、できる限り対応していきたい。

## 施設の整備は

### ◆いきいき交流センター サンセットプラザ

現在の状況を担当課より、説明を受けた。

令和5年度の施設整備費は、券売機購入や和室空調更新などに1332万円

### 《主な質疑》

【質問】今後の浴場関連の修繕計画があれば教えていただきたい。

## 将来的な経費抑制

### ◆ハートタウン敷地購入

担当課より、説明を受けた。事業用敷地として賃貸借契約を結んでいる土地を購入することにより、将来的な負担軽減と建物撤去リスクを排除したい。



ハートタウンはぼろ

売買契約時期は12月以降から年度内とし、売買価格は財務課で算定。

# 文教厚生常任委員会

## 解体利用度高く

(11月14日開催)

### ◆空き家対策事業

空き家対策事業について、担当課より説明を受けた。

\*補助金活用状況

令和5年(10月末現在)  
解体26件 改修0件  
合計26件

\*補助対象経費総額  
3828万8千円

\*交付決定額  
1217万5千円

\*空き家の個数状況

市街地区 77件  
原野地区 17件  
天売地区 42件  
焼尻地区 57件  
合計 193件

\*空き家バンクに現在掲載中の物件数(10月末現在)

土地 17件 建物 4件  
合計 21件

### 《主な質疑》

【質問】町内の不動産情報は限られているので、空き家バンクの有効利用に注力してほしい。

【回答】できる限り対処していきたい。

## 利便性を重視

### ◆ほっと号・羽幌港連絡バスの利用実績

担当課より説明を受けた。  
\*ほっと号の利用実績

(10月末現在)

1便 1053人  
2便 1210人  
3便 1713人  
4便 990人  
合計 4966人  
1便あたり乗車数8・6人

\*羽幌港連絡バス

(10月末現在)

合計 1081人  
1便あたり乗車数2・5人



ほっと号バス

## 効果的な利用を

### ◆福祉ハイヤー

#### 利用実績

担当課より説明を受けた。  
令和4年度福祉ハイヤー支出状況

予算執行状況

\*障がい者1(24枚)  
予算額 18万6千円  
執行額 17万2千円  
執行率 92・8%

\*障がい者2(12枚)

予算額 46万5千円  
執行額 44万3千円  
執行率 95・4%

\*高齢者

予算額 608万7千円  
執行額 383万1千円  
執行率 62・9%

\*障がい者1(47人)

交付数に対する使用状況  
対象1128枚(47×24)  
交付 624枚(55・3%)  
使用 274枚(43・9%)  
\*障がい者2(129人)  
対象1548枚  
(129×12)

交付1188枚(76・7%)  
使用704枚(59・3%)

\*高齢者(1060人)

対象 12720枚  
(1060×12)

## 大学進学を後押し

### ◆前山富義奨学金基金条例

新たな奨学金について担当課より説明を受けた。

羽幌町出身、前川氏の思いを酌み、大学進学を目指す学生を後押しするため、新奨学金を創設した。

基金額3千万円以内  
基金残額3千万円

対象 大学生  
貸付金額月額3万円以内  
償還開始期間 2か年後  
償還期間 10年以内



利用されているハイヤー

## 快適な教育環境を

### ◆町立学校へのエアコンの一部設置

担当課より説明を受けた。  
当町において、学校などの暑さ対策を考える中で、

北海道教育委員会が主催する「暑さ対策等に係る市町村説明会」で冷房器具(備品)

等の購入経費が対象となる学校保健特別対策事業費補助金の追加募集があるので、積極的に検討してほしい旨の説明があり、これを受け各校の保健室への設置、換気対策となる備品等の整備をすることとした。

今回の追加募集は、換気対策であるスポットクーラーや家庭用エアコン(備品)等の購入で応急的対応として実施するもの。したがって大規模な工事を伴うものは対象外となっている。

### 《主な質疑》

【質問】年度内に設置完了できるのか。

【回答】家庭用エアコンについては年度内に設置完了できると考えている。



# 広報広聴常任委員会

## 町民と議員で

(11月20日開催)

### ◆意見交換会に向けて

町民の意見を議会活動に生かす目的で実施してきた意見交換会が、コロナ感染症の影響により3年間実施できなかった。広報委員会としては、広く町民の意見を聞くことで、議員それぞれが議会活動の中で生かすことにつながるものと考え、実施に向けて、どのような形で進めればよいのかを委員と他の議員の意見を聞いた。

### 【意見】

- ・産業団体を対象とし、事業の状況などを聞いてみては。
- ・産業団体の女性部や、そこで働く女性を対象にしては。
- ・議員側から出向いていくのもよいのでは、例えば、いちい大学にお邪魔して実施してもよいと思うが。
- ・高校生とやるときには、学校の教室で実施するのもよいのでは。

## 臨時会

(10月13日開催)

・羽幌町営焼尻めん羊牧場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

\*提案に至る事由

昭和37年から約60年間にわたり継続していた焼尻めん羊牧場を、閉鎖するべく羊の譲渡先を探している中、民間事業者から、牧場施設を引き受け自己資本により継続して運営したいとの申し出があり、町として、施設の有効活用が図られ、町営牧場と同様な運営として牧場を存続することにより、引き続き焼尻島を含めた本町における観光振興等に寄与できること、また、本町一次産品の販路拡大を含め、その他産業にかかる地域経済への波及効果についても期待ができるものと判断し、牧場事業を継承しようとするものである。



一般質問を試験録画

### 一般質問を配信

### ◆3月定例会よりインターネット動画配信

かねてより準備を進めてきた、インターネット動画配信(一般質問のみ録画配信)が、3月定例会より実施できることになりました。一般質問の様子をぜひご視聴ください。

### 【貸し付けの相手方】

羽幌町大字焼尻字白浜256番地  
株式会社焼尻めん羊牧場  
代表取締役 東郷啓祐

### ・財産の無償譲渡

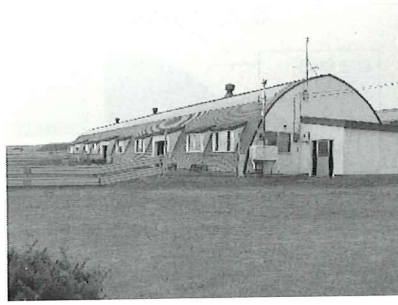
【無償譲渡する財産】

- 1, トラクター、軽自動車、リフト付きトラック他52件

### ・財産の減額譲渡

【減額譲渡する財産】

- 1, めん羊(サフォーク種)
- 2, 頭数 147頭
- 3, 譲渡金額 100万円



焼尻めん羊牧場の羊舎

\*民間事業者による、牧場事業継承後の運営を円滑かつ安定的に進めてもらい、焼尻島を含めた本町の地域産業の活性化を図るため、土地や建物を無償貸付、物品(備品)を無償譲渡、めん羊は減額譲渡とした。

(11月20日開催)

### 【一般会計補正予算】

- ・羽幌小学校施設管理事業 72万6千円
- ・天売小学校施設管理事業 91万1千円
- ・焼尻小学校施設管理事業 95万9千円
- ・羽幌中学校施設管理事業 115万1千円
- ・天売中学校施設管理事業 72万6千円
- ・焼尻中学校施設管理事業 97万7千円
- ・天売高等学校管理運営事業 163万8千円

\*国庫補助金に係る追加募集があったことから当該補助を活用し緊急的な措置として、各校に冷房機器を設置する。

- ・河川災害復旧事業(公共土木施設災害復旧工事請負費) 4085万9千円

\*8月3日から4日の大雨により二股沢川などの複数個所で発生した河川崩壊等の一部の箇所が災害認定を受けたことから補助災害復旧事業として実施する。

# 医療問題調査研究特別委員会

## 医療体制の懸念

(9月29日開催)

### ◆加藤病院の閉院

9月19日、主に療養型病床として入院患者を受け入れていた当該病院が、コロナ禍による入院患者の減少、また医師が健康不安を抱えている現状であり、その両面から経営が困難ということで医療法人より町側に説明があった。また、焼尻診療所の医師も3月末で退職を希望していることから、今後の医療体制について森町長が道庁地域医療課へ要請を行うことが報告された。

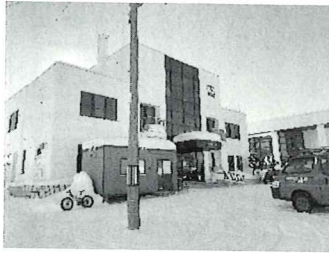
#### 《主な質疑》

【質問】現状療養型病床はどの程度受け入れているのか。

【回答】高齢者の記念品配布で伺った時は半分強ぐらいの状況ではないかと感じた。

【質問】系列病院が引き受けることだが、今入院中の家族の方の理解は得られているのか。

【回答】まだ正式発表ではないので患者さんに公表したか



閉院が決まった病院

は不明だが、職員はかなり動揺していたと伺った。

【質問】健康診断とか引き受けていたのだと思うが、今後羽幌町の医療体制をしっかりと整えていかないといけないが、北海道には医師増で要請するののか。

【回答】具体的な数字を挙げるといふより、まずは地域医療の実情等を含め強く訴えていきたい。

【質問】当該病院がなくなることに療養患者の道立羽幌病院への受け入れの可能性は

【回答】当然そういう危惧はあるので、道立病院のみならず当該法人とも連絡を取り合っており、なるべくスムーズに移行できるように協力していきたい。

# 公共事業等調査研究特別委員会

## 今期より設置

(11月15日開催)

### ◆町財政の現状と課題

公共事業等調査研究特別委員会を開催し、担当課より町財政の現状と課題について説明を受けた。

歳入については羽幌小学校建替えによる借入、コロナ対策による地方創生臨時交付金などにより増となる部分があるものの10年間ほぼ横ばいであるが、今後人口減少により減少することが予想されること、歳出についても歳入に比べて増加があるもののほぼ60億円程度で推移しているが、今後扶助費（医療費など）については増加されることが報告された。

今後は、公共施設マネジメント計画アクションプランの見直しや各種整備計画との再調整により施設の必要性や整備面積の再計算、着手順位の見直し、一部事務組合構成町村との議論の必要性などの課題が提起された。

歳出（令和4年度一般会計）



歳入（令和4年度一般会計）



#### 《主な質疑》

【質問】町税は人口が減っても令和4年度は増えているが。

【回答】法人については若干減っているが個人については一部の産業などで良い時があると増えることがある。固定資産税は下がるが個人町民税については今のところは極端に下がっていない。今後生産年齢人口が減少すると税収は下がるのではないかと危惧している。

【質問】今後天売・焼尻・公民館と大型事業が続くが、その時の償還はどのように考えているのか。

【回答】3つの事業で約50億になるが、町全体事業の順番を検討して単年度での借入が大きくならないようにしたい

【質問】扶助費が増える要因はどのようなものか

【回答】人口は減っているが対象者の拡大やメニューの拡大・身体的な部分だけでなく心の病というのも羽幌だけでなく増えてきている。

【質問】義務的・その他経費の理想的な割合はあるのか

【回答】率で表すのは難しい。経常収支比率は当町で80%程度あり、残り20%で政策的な事業を展開しなければならず、財政的には硬直化傾向にある。